

耐震補強

▶ 高架橋および駅の耐震補強

地震に対する安全性を向上させるため、耐震補強を進めています。



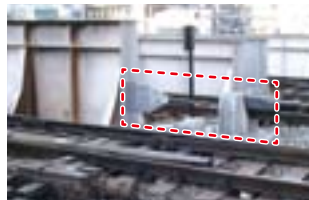
高架橋耐震補強



駅耐震補強

▶ 落橋対策

大規模地震時に橋桁が橋台から落下するのを防ぐため、落橋防止装置を設置しています。



落橋対策

地下駅の火災対策

火災時の被害拡大を防止するため、防火防煙シャッターをはじめとした火災対策設備を設置しています。



防火防煙シャッター

平成27年度 安全重点施策の目標

火災・自然災害対策

高架橋や枚方市駅、守口市駅などの耐震補強工事を進めます。また、京都地下線6駅で、火災等の災害発生時に電波の届きにくい地下と地上で消防救急隊が無線機による通話ができるよう無線通信補助設備の更新を実施します。

その他の取り組み

鋼索線（男山ケーブル）の安全対策

鋼索線は鋼索（ワイヤロープ）に繋がれた車両（ケーブルカー）を巻上装置で巻き上げて運転する仕組みになっています。そのため、運転士は山上側にある運転室で巻上装置の操作を行い、車掌はケーブルカーの車内に乗務し、運行中の前方確認や扉操作を行います。このように運転士が車内にいないことや急勾配で運転するため、特にブレーキ装置やワイヤロープの点検・整備には細心の注意を払い運転保安の確保に努めています。

また、平成27年度中に駅の乗車側ホームに固定式ホーム柵を設置する予定です。



鋼索線の点検・整備



▶ 鋼索線事故想定訓練

不測の事故・トラブルに備え、お客さまの避難誘導をはじめとする訓練を定期的実施しています。平成26年度は12月に八幡市駅で実施しました。



鋼索線での訓練



ひらかたパークの安全対策

当社が運営する「ひらかたパーク」では、鉄道技術部門が安全性を確認し、一部の遊戯機のメンテナンスを寝屋川車両基地で行っています。鉄道会社直営の強みを活かし、ひらかたパークと鉄道各部門が協力し、高い技術レベルで遊戯機の安全を支えています。



ジェットコースターの分解整備